

北部機械金属業界の景況動向

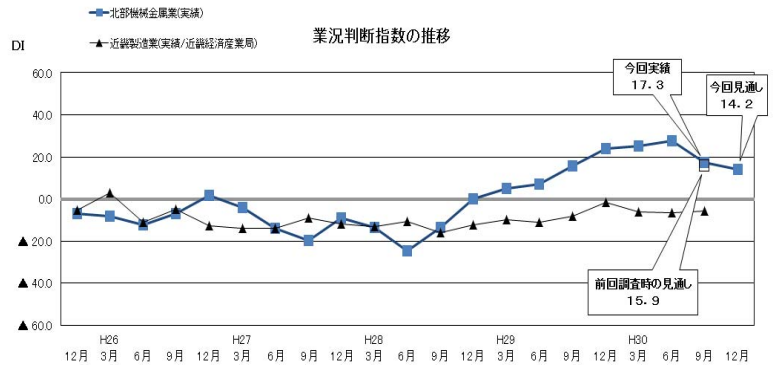
(2018年7~9月実績/2018年10~12月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業179社 【調査時点 平成30年9月下旬】
- 回答数：127社（回答率70.9%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:24、舞鶴市:19、綾部市:17、宮津市・与謝郡:17、京丹後市:50
 - ②取扱別 = 一般機械:53、電気機械:17、輸送機械:28、精密機械:12、その他:17
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:37、10~19人:27、20~49人:35、50~99人:14、100人以上:14
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

一 調査結果

1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は 17.3 となり、4~6月期(以下「前回」)より10.3ポイント低下した(前回 27.6)。地域別では、福知山市域が 0.0(前回 32.2)、舞鶴市域が 10.5(前回 5.0)、綾部市域が5.9(前回22.2)、宮津市・与謝郡域が -0.1(前回 31.2)、京丹後市域が38.0(前回34.7)と舞鶴市域及び京丹後市域を除く地域で悪化した。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●10~12月見通しのDIは 14.2となり、前回より1.7ポイント低下の見通しとなった(前回 15.9)。地域別では、福知山市域が8.4(前回22.2)、舞鶴市域が10.5(前回0.0)、綾部市域が-11.7(前回0.0)、宮津市・与謝郡域が5.8(前回18.7)、京丹後市域が30.0(前回23.0)と舞鶴市域及び京丹後市域を除く地域で前回より悪化の見通しとなった。

景況動向判断7~9月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	2.4	28.3	55.9	13.4	
福知山市	12.5	75.0		12.5	
舞鶴市	26.3	57.9		15.8	
綾部市	5.9	35.3	23.5	35.3	
宮津・与謝	11.7	76.5		11.8	
京丹後市	4.0	40.0	50.0	6.0	

景況動向判断10~12月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	26.0	62.2	11.8		
福知山市	16.7	75.0	8.3		
舞鶴市	15.8	78.9	5.3		
綾部市	17.7	52.9	29.4		
宮津・与謝	17.6	70.6	11.8		
京丹後市	40.0	50.0	10.0		

2 採算状況

●7~9月の採算状況は、黒字とする企業が 39.7% (前回 39.6%)とほぼ横ばい、赤字とする企業は8.7% (前回10.4%) となり、1.7ポイント低下した。地域別では、黒字とする企業は京丹後市域で55.1%と最も多く、全ての地域で黒字とする企業の割合の方が、赤字とする企業より多い結果となった。

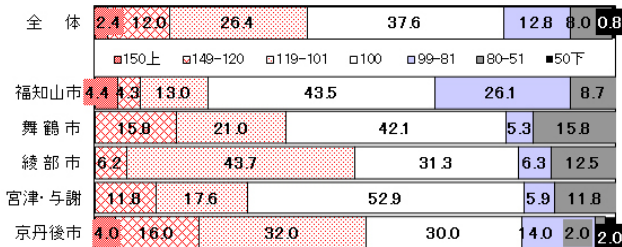
7~9月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	39.7	51.6	8.7
福知山市	37.5	58.3	4.2
舞鶴市	26.3	57.9	15.8
綾部市	35.3	47.1	17.6
宮津・与謝	17.6	70.6	11.8
京丹後市	55.1	40.8	4.1

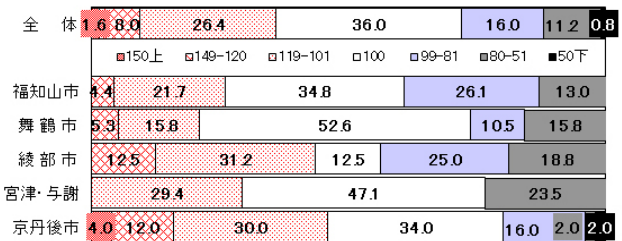
3 受注量

●7～9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業が78.4%（前回69.7%）と8.7ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は72.0%（前回65.9%）と6.1ポイント増加となった。地域別では、対前年比及び対3か月前比100%以上の受注を確保した企業が、全ての地域で5割を超える結果となった。

7～9月受注量(前年比%)

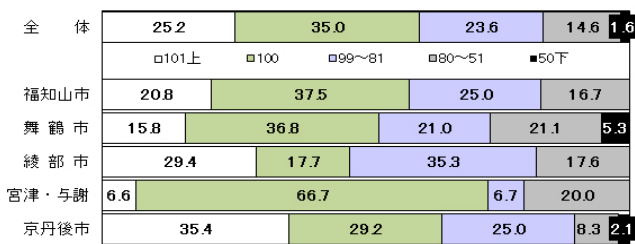


7～9月受注量(3ヶ月前比%)



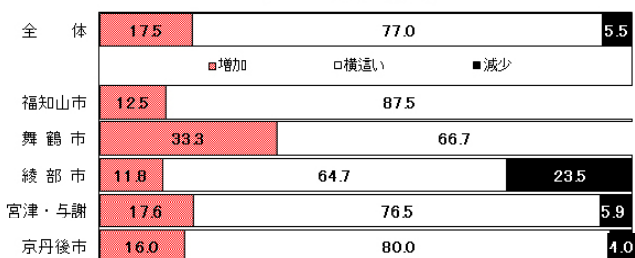
●7～9月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業の割合が60.2%（前回54.2%）と6.0ポイント増加した。綾部市域を除く地域で受注能力100%以上の受注量を確保した企業の割合が5割以上となった。

7～9月受注量(受注能力を100として%)



●10～12月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が17.5%（前回15.8%）と1.7ポイント増加の見通し、減少を見込む企業は5.5%（前回6.0%）と0.5ポイント低下でほぼ横ばいの見通しである。

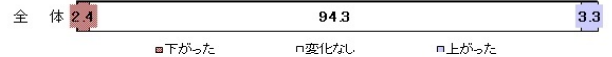
10～12月受注見通し



4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は3.3%（前回5.3%）と2.0ポイントわずかに低下、下がったとする企業は2.4%（前回6.1%）と3.7ポイント低下した。納期が短くなったとする企業は16.1%（前回15.2%）と0.9ポイント増加した。

7～9月受注単価(前年比%)



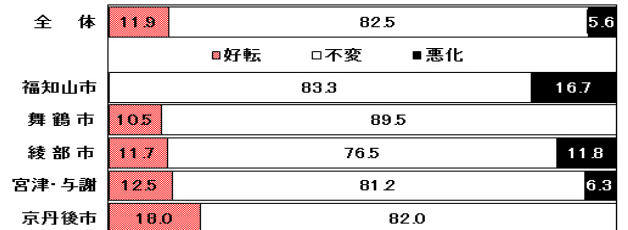
7～9月納期



5 資金繰り

●資金繰りは、好転とする企業が11.9%（前回8.4%）と3.5ポイント増加、悪化した企業が5.6%（前回8.3%）と前回より2.7ポイント低下した。

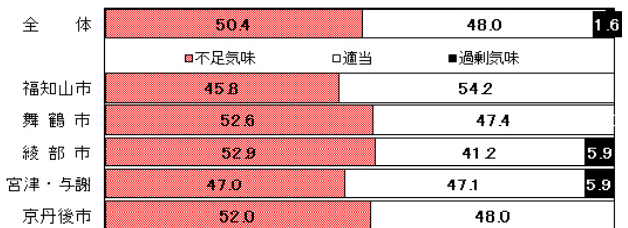
7～9月資金繰り



6 従業員数

●従業員数は、不足気味が50.4%と4.9ポイント増加（前回45.5%）、過剰気味が1.6%（前回3.0%）となった。宮津市・与謝郡域を除く地域で、不足気味とする企業の割合が前回と比べ増加した。

7～9月従業員数



7 原材料価格

●原材料価格についての回答は、「変化なし」が56%（前年58%）、「上がった」が44%だった（前年41%）。種類は鋼鉄が最も多かった（27%）。

